

平成 23 年 12 月〇〇日

報 道 各 位

日本子ども家庭総合研究所  
東日本大震災 中央子ども支援センター  
センター長 五十嵐 隆  
日本子ども家庭総合研究所  
所長 柳澤 正義

東日本大震災の報道に係るご配慮についてのお願い（要請）

日頃より、東日本大震災に関する貴重な報道にお礼申し上げます。今回の震災を風化させず、国民全体が被災地の復興を忘れないためにも、報道に携わる皆さまのご活動は非常に重要であると存じます。

しかしながら、特に被災体験を有する子どもにおいて、津波映像のくり返しの放映などがフラッシュバック等を引き起こし、こころの問題を誘発する可能性が指摘されております。また、直接的な被害を体験していない子どもにおいても、くり返し映像にさらされることの影響が報告されております。

年末年始および 3 月 11 日周辺においては、被災地に関する報道が集中することが想定されますが、同時に子どもが長時間テレビ等を視聴する可能性も高まると予想されます。従いまして、子どものこころを守るために、被害映像等の放映に以下のご配慮を要請いたします。

第一に、子どもがテレビを視聴する時間帯へのご配慮をお願い申し上げます。具体的には、平日は午前 6 時から午前 10 時および午後 3 時から午後 9 時、休日・年末年始は午前 6 時から午後 9 時の時間帯に、子どものテレビ視聴が集中すると考えられます。この時間帯につきまして、津波の被害映像を極力流さないための工夫をお願いいたします。また、恐怖を感じさせる被災映像の長時間の視聴が子どもに及ぼす影響について、番組内等で注意喚起くださいますようお願いいたします。

第二に、被災地の子どもへの被害体験に関する取材には、特段の配慮をお願いいたします。

PTSD 等のこころの問題を呈する子どもが多数いること想定されており、具体的な症状を示していない子どもについても、震災の影響を考慮する必要があります。東日本大震災という未曾有の災害からの復興に向け、未来を担う子どもたちへの最大限の配慮をお願いいたします。

尚、参考までに当センター協議会の構成メンバーである日本小児神経学会も専門学会の立場から同様の緊急アピールを行っておりますので、ご覧いただけますと幸いです。

(URL : <http://child-neuro-jp.org/visitor/iken2/20110325.html>)

お問合せ : 〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8

日本子ども家庭総合研究所

東日本大震災中央子ども支援センター事務局 有村／永野／白子

E-mail: [info@kodomokatei.info](mailto:info@kodomokatei.info)

TEL:03-3473-8347/070-5578-0978

FAX:03-6745-9554